

せんそう 戦争の時代へ

この頃、日本は太平洋戦争に突き進んで行き、地方の留
萌も戦時色一色に染められていきます。

こんな中、ナヲはすすめられて火防衛生婦人会(※20)の
会長になります。



かぼうえいせいふじんかい
留萌火防衛生婦人会

※20 火防衛生婦人会

火災、伝染病予防や生活環境の改善などを進めるために組織された婦人
団体

せんそうきょうりょく
戦争協力のため、金品のきょうしゅつ供出(※21)などがあり、立場
もはん
上模範とならなければならぬため、自分が好きで集めた
そっせん
茶道具なども率先してきょうしゅつ供出していました。

ナヲにとっては、自分の身を切られる思いだったことで
しょう。

むすめ
娘のトミは、昭和17年(1942)から町立留萌高等女学
校(※22)の先生となり、昭和22年(1947)までぶどうなぎなた武道薙刀・
いくじほけん
育児保健・さかどう茶華道を教えています。

※21 きょうしゅつ 供出

せいふ政府などのようせい要請におう応じて、金品などを差し出すこと

※22 町立留萌高等女学校

昭和14年(1939)開校の留萌女子教育機関。昭和18年(1943)北海道
いかんに移管し、ちょうりつ庁立留萌高等女学校となる。その後、しんせい新制留萌高等学校に併合



町立留萌高等女学校のなぎなた薙刀練習

せんそう
戦争が始まって、留萌に
えいぎょう
影響が出てくるMO~

